

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2021年7月14日(水) No.15



「道徳」の授業

<あなたは自分が好きですか？>

お笑い芸人の 動画を見ました。その中で、どんなマイナスなことでもプラスに変換する「ポジティブ変換術」というお話がありました。

実際に、自分の好きではないところや自信がないところを挙げ、それをポジティブ変換してみるということを体験しました。「物事を長く続けることができない。」というのは、ポジティブに変換すると「切り替えが早く、いろんなことにチャレンジすることができる。」など、たくさんのポジティブ変換が見られました。中学1年生の年齢になると、どうしても周りの人と自分を比べてしまいがちで、自信がなくなりやすい時期です。授業の最初と最後で、「あなたは自分のことが好きですか？」という同じ質問をしたところ、多くの生徒が授業の最後には、「自分に少し自信が持てるようになった。」という結果になりました。今後この「ポジティブ変換術」というものを大切にしてほしいと思います。



<木の声を聞く>

町や学校の自然にふれる機会が、小学生のころよりも少なくなる年齢にさしかかり、今一度、『自然』や、『人間と自然のかかわり』を見直す授業をしました。時として自然は、私たち人間を怒らし、大災害の中、人間の行動で判断にまよう場面におかれ、命さえ危ぶまれる一面もあれば、いつも見上げる空のようすでさえ、美しい絶景を見せることもあります。



授業では、樹木医の仕事をとおして知るフジの木(大藤)の移植とその後について、エピソードをまじえた話をしました。『美しい景色』は、実物以上にまさるものはありません。ぜひ、自分が感じる『美しい景色』をこれからの経験で、感じとる視点をもてるよう願っています。

<どんなとき?どんな感情?>

相手の表情を見て、どんな感情なのかを考え、同じ表情でも人によって実は感じ方が違うということを改めて授業で伝えました。授業では実際にイラストの表情を見て、どんな感情か各自で考えてみると、さまざまな感情を発表していました。



授業を終えて、みなさんが書いたワークシートの気づいたことに、「これからは、まず人の気持ちを考えようと思う」「一人一人考え方がちがうことに気づいた」「楽しそうに見えても心の中では苦しんでいるかもしれないことに気づいた」等の感想も見られました。

これからの学校生活でも、相手の表情と気持ちはいつも一緒ではないということを踏まえ、発言をする前に適切な言葉かどうかを一度考えてほしいと思います。

<アンガーマネジメント> 節度を守って行動できる人になろう

美しい、素晴らしい、かわいい、素敵だ、と感じる人もいればそう感じない人もいます。

人それぞれで感じ方には違いがありますが、『怒り』の部分でも全員が同じではありません。

班で考え、それぞれで『怒り』を感じるポイントが違うことを学び、「自分と人が怒るポイントは違うからこれから気をつけたい。」などの振り返りができました。

この振り返りを大切にして、これからの学校生活や友だちとの接し方の中で、活かしてほしいと思います。



明日(15日木曜日)のお知らせ

◎ 学年で、1学期の最後に70期みんなでおたのしみ全員リレー、を予定しています。

持ち物：夏用体操服・水筒(お茶たっぴり)・タオル

晴れるといいね(^^)